

## 人を対象とする調査に係る研究倫理審査の手引き

### 【本資料の目的】

本資料は、松商学園高等学校における探究活動を安全かつ適切に推進するために、「人を対象とする調査に係る研究倫理審査」および「研究のための公欠制度」について、生徒が理解し必要な手続きを円滑に行えるよう作成したものである。

探究活動においては、調査対象者の人権や個人情報を尊重し、社会的責任をもって研究を進めることが求められる。また、校外での調査・実験・発表等を行う際には、教育活動として適切な手続きを経て実施する必要がある。

本資料を通じて、研究倫理に関する基本的な考え方と申請手続き、公欠制度の利用方法について理解し、主体的かつ責任ある探究活動の実践につなげることを目的とする。

### 1. 人を対象とする調査の定義

個人もしくは集団に対し、特定・不特定を問わず、その行動や心身・環境に係るデータを収集する調査を行う場合は「人を対象とする調査」として、申請書を提出する。

### 2. 規制内容

「人を対象とする調査」を行う場合、以下の項目について明記した申請書を記入し、質問紙・実験指示書などの具体的指示があれば添付した上で指導教員に提出すること。指導教員および探究責任者の許可を調査開始1週間前までに得る必要がある。

- ①調査目的（調査を行うことによってどのような問いの解決が期待できるのか）
- ②調査内容（調査対象、人数、場所、日時および調査方法の概要。具体的書類の別添可）
- ③被調査者に負担を与える必然性および負担を最小限に留める措置
- ④インフォームド・コンセントに関する措置
- ⑤計画している発表媒体

### 3. 審査基準

下記項目をすべて満たさない限り、調査の実施を許可しない。収集する情報の機微性が高い場合は特に慎重に審査する。

- ①研究を遂行するうえでその調査が必要不可欠であり、人を対象としない方法では代替不可能である。
- ②調査は被調査者の尊厳および人権に配慮し、可能な限り被調査者の負担が少ない形で計画されている。
- ③調査を行う前に、事前に参加の任意性および予見される被調査者の負担や不利益について被調査者（乳児など直接の同意が不可能な場合は代理人）に説明のうえ同意を求めよう計画している。
- ④収集した個人情報を適切に管理し、不要となった場合は廃棄する計画を立てている。

### **[審査の際の注意]**

- ・以下に例示する個人情報には特に機微性が高い（センシティブ）なため、研究遂行のためにどうしても収集を計画する場合であっても、慎重な計画が必要です。  
国籍、人種・家系、宗教的・政治的等の信条、性的事項（校内での調査については、校内で広く認知されている性別を調査することは構いません）、病歴・障害や身長体重等、犯罪歴もしくは犯罪被害歴、本籍や市区町村より小さい単位の住所、家計、社会的地位、学業成績
- ・インフォームド・コンセントについては、質問紙調査を例に挙げると、最低限、調査の任意性、計画している発表媒体（校内論文・発表ほか、外部での学会発表など）および想定所要時間を冒頭に判読しやすい形で明記して下さい。機微性の高い個人情報を調査する場合、より慎重な説明・同意のプロセスが必要です。
- ・個人情報保護については、必要のない場合、データは匿名かつ個人を特定できない状態で保管・処理してください。匿名性を保てない、あるいは研究遂行上個人を特定できる形でデータを保管する場合、紙媒体ならば鍵のかかる場所に保管して廃棄の際にはシュレッダーにかける、デジタル媒体ならばパスワードを掛けるなどの処理が必要です。機微性の高い個人情報については、個人を特定できる形で保管する必要があるかを精査してください。
- ・指導教員には調査開始に少なくとも 2 週間前までに本用紙を提出してください。審査が却下され、予定通り調査ができないことも当然あります。

### **[倫理審査の流れ]**

生徒が倫理審査申請記入・指導教員に提出（審査チェックリストとアンケートチェックリストも提出）

→指導教員のチェック→探究委員長のチェック→教頭の確認

→承認印を押して生徒に倫理審査申請返却（チェックリスト含む）→調査実施

人を対象とする調査に係る研究倫理審査申請書

年 組 番 氏名	提出日
調査目的（調査を行うことによってどのような問いの解決が期待できるか）	
調査内容（調査対象、人数、場所、日時、調査方法の概要） [質問紙・実験指示等の具体的書類があれば添付]	
被調査者に負担を与える必然性および負担を最小限に留める措置	
インフォームド・コンセントに関わる措置	
個人情報保護に関する措置	
発表予定の媒体	

以上の調査を承認する

指導教員	探究委員長	教頭	承認番号	承認年月日

人を対象とする調査に係る研究倫理審査チェックリスト

_____年 _____組 _____番 氏名 _____	提出日
<p>調査目的に関するチェックリスト</p> <p><input type="checkbox"/> 質問紙・実験指示等の具体的書類があれば添付されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 調査対象者、人数、場所、日時、データ収集方法が明記されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 調査対象者を選定した理由が明記されている。</p>	
<p>被調査者の負担を最小限に留める措置に関するチェックリスト</p> <p><input type="checkbox"/> 被調査者に負担を与える必然性について明記している。</p> <p><input type="checkbox"/> 研究対象者に強制が加わらない依頼方法になっており、自由意志に基づく判断・決定ができるように配慮されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 実験・調査の手続き及び内容（拘束時間・労力）が対象者に過度に負担にならないものになっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 対象者が特定されないように配慮されている。</p>	
<p>インフォームド・コンセントに関する措置のチェックリスト</p> <p><input type="checkbox"/> 説明者、説明時期、検討機関の設定が質問紙や実験指示書などに明記されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 同意を得る方法や同意の撤回方法が質問紙や実験指示書などが明記されている。  <small>（口頭説明や掲示など文書によらない場合、説明方法や同意を得る方法について記されている）</small></p> <p><input type="checkbox"/> 中途での実験・調査離脱の自由があることを伝える旨が質問紙や実験指示書などに明記されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 対象者が本校以外の未成年である場合、保護者などから承諾の必要性について考えられている。</p>	
<p>個人情報保護に関する措置のチェックリスト</p> <p><input type="checkbox"/> 実験・調査によって収集された資料やデータについて、対象者のプライバシーを適切な手段で保護している。</p> <p><input type="checkbox"/> 保管のため、実験・調査によって収集された資料やデータの匿名化を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 取得データに保管方法・期間、廃棄方法について検討されており、適切である。</p> <p><input type="checkbox"/> 実験・調査の結果が公表される場合、対象者の個人情報を適切な手段で保護している。</p>	
<p>質問紙・実験指示書などにおける同意書に関する措置のチェックリスト</p> <p><input type="checkbox"/> 調査者の学校名・学年・氏名を記載している。</p> <p><input type="checkbox"/> 被調査者に負担を与える必然性について記している。</p> <p><input type="checkbox"/> データ等の保存方法および研究終了後のデータ廃棄の方法について記している。</p> <p><input type="checkbox"/> 研究への参加は自由に撤回や辞退ができ、その場合でも後に不利益を被ることがないことが説明されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 発表予定の媒体について明記されている。</p>	

## アンケート等を用いる研究に関するチェックリスト

アンケート調査を行う場合、このチェックリストを確認後に倫理審査申請書と一緒に提出してください。

年 組 番 氏名	提出日
<p><b>■アンケートを行う目的に関するチェックリスト</b></p> <p><input type="checkbox"/> 研究の目的が明確である (研究の目的: )</p> <p>・アンケートの位置づけを次より選ぶことができる</p> <p style="padding-left: 20px;"><input type="checkbox"/> 問いを得るための予備調査</p> <p style="padding-left: 20px;"><input type="checkbox"/> 分析データを収集するための本調査</p> <p style="padding-left: 20px;"><input type="checkbox"/> その他:</p> <p><input type="checkbox"/> アンケートを実施する目的が具体的で明確である (実施の目的: )</p>	
<p><b>■先行研究に関するチェックリスト</b></p> <p><input type="checkbox"/> 先行研究のアンケートを精読し自身のアンケートを作成した。</p>	
<p><b>■的確な調査を行うためのチェックリスト</b></p> <p><input type="checkbox"/> 誤字脱字がなく、誤解なく意味が通じる内容であることを確認した。</p> <p><input type="checkbox"/> 定義があいまいな言葉がないことを確認した。</p> <p><input type="checkbox"/> 1つの質問文では1つのことだけを尋ねていることを確認した。</p> <p><input type="checkbox"/> 質問文の前提条件について、十分に検討がなされていることを確認した。</p> <p><input type="checkbox"/> 誘導的な質問になっていないことを確認した。</p> <p><input type="checkbox"/> 文字の大きさ、行間、分量などが適切であることを確認した。</p> <p><input type="checkbox"/> 回答しやすい文章であることを確認した。</p> <p><input type="checkbox"/> 回答に必要な時間について十分に検討した。</p> <p><input type="checkbox"/> 収集したデータの適切な取り扱いについて明示した。</p>	
<p><b>■アンケート項目を用いた分析を行うためのチェックリスト</b></p> <p><input type="checkbox"/> 必要なカテゴリー（学年や部活動など）を収集できるアンケートになっていることを確認した。</p> <p><input type="checkbox"/> 各質問の回答方法（選択式、複数回答の可否、数値での回答）について十分に検討した。</p> <p><input type="checkbox"/> 収集したデータをどのように分析するか、アンケートを取る前に検討した。</p> <p><input type="checkbox"/> 調査内容が、目的を達成するものになっているか十分に検討した。</p>	
<p><b>■アンケートを実施するためのチェックリスト</b></p> <p><input type="checkbox"/> 調査開始予定の少なくとも2週間前までに倫理審査が指導教員に提出されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 倫理審査を提出する際に、アンケートもしくはフォームを印刷したものが添付されている。</p>	

## 研究のための公欠制度

### 1. 制度の概要

生徒自身の探究活動の深化のため、校内での教科学習を離れて自由に活動できる研究公欠日を設定します。

### 2. 研究公欠として想定される内容

探究活動に係るものとして、原則として以下の学びを想定します。

- ・ 校外でのインタビュー活動
- ・ 校外での資料、データ収集
- ・ 校外での実験および実習
- ・ 校外での実証活動等
- ・ 校外での発表等

### 3. 研究公欠の詳細

- ①研究公欠は、原則として年間5日程度とする。
- ②希望者は「研究公欠計画書・報告書」を作成する。同計画書を保護者と探究指導教員に確認してもらい、押印を頂いたうえで希望日の1ヵ月前までに担任の先生に提出する。
- ③学校行事日・考査日の研究公欠は認められない。
- ④研究公欠は年度限りであり、次年度への繰り越しは行わない。
- ⑤探究活動実施後は報告書を担任の先生に提出する。
- ⑥研究公欠中の事故については各自の責任とする。

#### 【研究公欠承認の流れ】

生徒が申請書記入・保護者に提出し押印→指導教員に提出→指導教員のチェック→学級担任に提出→承認印を押して生徒に申請書返却→公欠後に生徒が報告書を担任に提出

研究のための特別公欠申請書・報告書

_____年 _____組 _____番 氏名 _____	提出日
活動日時 _____年 _____月 _____日 ( ) _____年 _____月 _____日 ( ) ※連続する場合に記入	
今回の申請で _____ 日目 (連続する場合は合計日数を記入)	
活動内容 <input type="checkbox"/> インタビュー活動 <input type="checkbox"/> 資料・データ収集 <input type="checkbox"/> 実験・観察 <input type="checkbox"/> 実証活動 <input type="checkbox"/> 校外での発表等 <input type="checkbox"/> その他	
活動場所 (具体的に記入)  	
確認事項 <input type="checkbox"/> この活動で想定される学びを理解している (探究活動に係る学びの機会であること、主体的に活動する場であること) <input type="checkbox"/> 学校行事日・考査日ではないことを理解している <input type="checkbox"/> 研究公欠中の事故については各自の責任であることを理解している	
報告 学んだ場所・内容等について以下のとおり報告します  _____  _____	

以上の活動を承認する

保護者	指導教員	学級担任	承認番号	承認年月日

## 松商学園高校SSH事業に関わる卒業生への独自追跡調査について（依頼）

松商学園高等学校は、令和6年度から文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業の指定を受け、科学技術系人材の育成に取り組んでいます。この事業の取り組みを検証するため、卒業生の皆様へアンケートを実施させていただくことになります。つきましては、アンケート調査の意図をご理解下さり、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

### 1. 調査の目的

SSH事業の主な対象である文理・特進コースの皆さんを対象に、本校で展開してきたSSH事業や高校時代に経験し取り組んだことが、卒業後の活動にどのような影響を与えたかを調査します。その結果として得られたデータを通して、本校でのSSH事業の効果、成果を検証します。調査結果は、校内での取り組みの改善、本校と卒業生とのネットワークを構築しての教育向上に資するために活用させていただきます。

### 2. 調査対象：本校文理コース・特進コース 2025年度卒業生以降の皆さん

### 3. 回答方法：アンケートフォームにアクセスしての回答

※本調査の実施を、同窓会等の連絡ツール（LINE やインスタグラム等）で周知していただければ幸いです。

### 4. 個人情報の取り扱いについて

この調査で得られた個人情報は、本調査の目的以外で使用する一切ありません。